

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす



少年・少女の夢再び

Rotary : Making a Difference

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

2017~2018

富津中央RC会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2498 第7回例会 2017. 8. 24 晴

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：大網庄一郎 副SAA

ソング：我らの生業

お客様：第4分区ガバナー補佐 内田 稔 様

会長挨拶

石渡 鋼 会長



皆さん今日は。こんなに暑い日にも関わらず例会にご参加いただき有難うございます。

またまた言いたくなる「言うまいと思へど今日の暑さかな」。話すのもこれで2回目となりましたが、会員の皆様くれぐれもご自愛ください。

さて甲子園の暑い熱戦も埼玉県に初めての優勝旗だそうですが花咲徳栄高校の優勝で終わりました。気になっておりましたもう一つの全国大会の全日本中学校サッカー選手権大会ですが、ネット検索したところ初戦での静岡に2-3で敗れた模様で、先の財前教頭先生のお話にあった、青森山田中学が優勝、準優勝が鹿児島育英中学という結果になったよ

うです。敗れたとは言え富津中の皆さんには一生の思い出ができたことでしょう。

今日の例会には、吾が第4分区より内田ガバナー補佐(木更津東RC)をお迎えしております。内田ガバナー補佐には、アカデミアホールでの地区大会時の会長ということで、当クラブとは特に親しくさせて頂いております。今日は来月7日のガバナー公式訪問を前に諸事の打ち合わせにお越しいただきました。後ほどご挨拶かたがたお話を伺いたいと思います。

例会終了後、新会員の件で臨時理事会を行いますので、よろしくお願い致します

幹事報告

平野安照 幹事



1. 君津RC、上総RC、袖ヶ浦RCより週報受領(回覧)
2. 木更津RCより例会変更のお知らせ受領
休会:9月21日(木)(クラブ定款による)

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



訓話

第4分区ガバナー補佐 内田 稔 様



富津中央ロータリークラブの皆様、こんにちは。

第4分区ガバナー補佐の内田です。先月に引き続きお伺いいたしました。

いよいよガバナー公式訪問が近づいてきました。2週間後の9月7日です。石渡会長さん、平野幹事さんご苦労様です。よろしくお願いします。

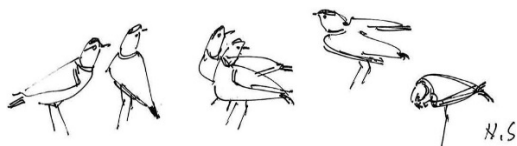
寺嶋ガバナーは現在、柏商工会議所の会頭です。1959年生まれで今年58歳となりガバナーとしては若く「穏やかな風貌であるが芯が強く意外と頑固です」と地区幹事長の神野さんは言っています。

地区協議会の資料では、地区の基本的な考え方で地区を「人格のない社団」ととらえ、公益法人を引き合いに出し、公的目的事業比率の達成に触れています。また、ガバナー月信の8月号では国家財政の危機を語っています。いかにも経済界の地域リーダーらしい発言と思います。

今回の公式訪問、クラブ協議会では、今までになかった直前会長の発表があります。

従来ロータリー活動は単年度でしたが、近年団体活動が推奨され継続性が重視されたところからと推察されます。

クラブ協議会の最後に質疑応答の時間があります。会員の皆様には発言の機会がありますのでご利用いただければと思います。



卓話

楽しかった思い出

岡田良弘 会員



卓話のご指名を頂いて素直に有難うございますと、お礼を言ったほうが良いのか、平野幹事より連絡を頂いた時は路頭に迷った心境になりましたが、声のかかるうちが花だと、よく聞きますので素直に受ける気持ちになりました。

何を話そうかと思っているうちにすぐに1週間が立ってしまい困っている状況でしたが、何を題目にしたらいいのかと思ったとき、今まで一番か二番目に楽しかった時代のことを思い出す意味でいい機会かなと思いました。そして、1番か2番目に楽しかった時代とは私が16歳～18歳、更には18歳～20歳の時だったと記憶にあります。

16歳で高校に入学したとき、同じ中学から入学したのは私一人で、寂しい思いをしていたのですが、私の後ろの席の男子から声がかかり、彼もまた知っている仲間がいないということで、意気投合し、友達になりました。その人の名前は、山口肇君と言って、岩根の出身で、身長1.8M以上で中学では野球をやっていたそうです。それ以来ちよくちよく岩根のほうへ遊びに行くことが多くなり、仲間も増えました。

その後、2年、3年は山口君とは違うクラスだったので、3年間ずーっと、いい友達で付き合い合っことができ本当に良い思い出ができました。

そして卒業の後、どうするかということになり、私は父親が建設業を営んでいるのもありましたが、親には建築の道に進んでほしいとは言われたことはありませんでした。どうしてかわかりませんが自分から建築の道を行こうという気持ちになりました。この時、山口君にこの先の進路について何を考えているか

を聞いてみたんです。彼の親は普通のサラリーマンでしたが私の影響が大きかったのか、いつも遊びに来て見て建築に興味を持っていたのか、同じ道に進むことになり、東京の同じ建築専門学校に入りました。

最初の1年間は、2人とも電車通学でしたが2年目に私は通いきれず、アパートを借り、山口君は電車で通いました。ちょうど19～20歳の一番遊びたい時だったかもしれませんが、勉強しないと進級できない恐れもあったのですが、私のほうが彼に助けてもらったことが多かった気がします。2年間はつらい時もありましたが楽しい時が大きくてもみ消してしまっただけかもしれません。見るものはみんな流行の最先端を行っているものばかりで、一時、2人でブティックの店を出そうかと真剣に考えたこともありました。親にわかったら怒られると思い、正気な考えに戻りました。

ちょうどこのころ、ディスコブームでジョントラボルタとか、アースウィンドファイアーなどが流行っていき、よくいろいろなディスコに行きました。そのころ千葉でディスコ大会がありました。仲間3人で遊び半分出場しました。そしたら優勝してしまい、びっくり仰天。関東大会出場が決まってしまう、なんと関東大会の会場が当時人気の大橋巨泉の11PMだと言うじゃありませんか。そこで出場するかどうか迷って仲間と相談し、11PMなんかみっともなく出られないということで断り、レコード盤をもらって帰ってきました。まーいろいろありました。

19, 20歳でしたが都会は本当に怖い街だと思いました。やっとの思いで2人とも卒業でき、その後私は家業を継いで現在に至っています。山口君も建設会社を転々として、現在は奥さんの実家が建築屋であることからそちらで働いており、現在も行ったり来たりと、仕事でもお付き合いができています。もう高校を卒業して「あれから40年」になります。本当に自分でもビックリしています。山口君を一生の友達だと思っています。

ご清聴ありがとうございました。

追) 高校3年の時2人で九州一周した思いでもありました。

安全について

神子勝美 会員



1. 安全という感じについて

安全の「安」は昔、女性が家を守っていて、「全」は屋根の下に「王」とあるので、主人を表していると思います。安全は、家族、家庭がうまくいって精神的に安定していれば安全な仕事ができると思います。安全の基本は家族、家庭を大事にすることだと思います。

2. 指差呼称の基本

構えての号令で、①足を肩幅に開く、②左手を腰に、③右手のこぶしを握って前に出す、④人差し指を出す、⑤確認するところを指す、⑥なにになにまで指をさす、⑦耳のところまで指を持ってくる、⑧気を入れて前に振り下ろす。

指差呼称→確認ポイントを決めて確認する方法

指差唱和→全員の意思統一を図る方法

3. 梯子

①梯子の角度→70～80度、②突出し→600mm

③昇降するとき支える人がいないときは上部を縛る

④3点指示で確実に昇降する

御礼

「吉野地区ふれあいの集い」参加に対し

山田昌雄 会員



吉野地区の区長でもある山田会員より、当クラブのバンドメンバーが「吉野地区ふれあいの集い」に参加していただき、地域の活性化に一役買っていただくことに感謝したいとの挨拶があった。

ニコニコ BOX

神子勝美 親睦担当部長

石渡 鋼 ガバナー補佐をお迎えして

平野安照 //

神子 恒 //

榎本守男 //

平川恵敏 //

高橋裕之 //

岡田良弘 卓話を聞いていただいて

神子勝美 //

小野恒靖 新日本主催卓球大会予選通過して

*内田 稔(ガバナー補佐)

合計12,000円

出席報告

出席担当部長 平川恵敏

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	32/30	22	8		73.33%
前回	32/30	22	8		73.33%
前々回	32/31	31	0		100%

理事会報告

平野安照 幹事

議事

1. 新入会員推薦の件について
2. 藤平健司氏の入会を、理事会で承認
3. 日本赤十字より献血の周知依頼
4. 例会場設置のピアノ調律について
5. プロジェクター等クラブ備品について

編集後記

今期の会報編集方針に「ロータリー友」誌の有益記事の紹介を挙げました。皆さん、「ロータリー友」月刊誌の8月号をご覧いただけたでしょうか？

印象に残った主な記事の紹介

1. 地域は本当に元気になれるのか？

日本ケーブルテレビ連盟理事長 吉崎正弘氏
この内容によると、2040年には、日本の市町村の半数が消滅可能性都市の概念に相当し、消滅危機を迎えるといわれます。富津市はどうでしょうか？我が富津市に当てはめて本記事を興味深く読みました。皆さんもぜひご一読を！

2. 夏は痛風発作に注意を

内科医 塩 宏 氏

内科医がタイトルにかかわる正しい生活習慣について述べています

3. お墓について

日蓮宗顕政寺住職 鈴木暁澄 氏

お墓についてはいろいろな考えがあると思います。お墓のことを宗教家の立場で述べています。

4. RI 会長メッセージ 「ストーリーを物語る数字」

「ロータリーって何」と問われたらどう答えるかとの問いに対し、2つの数字がロータリーを物語ると言っています。それはクラブが人道的奉仕に費やす現金(寄贈のお金含む)とロータリーの名のもとに行った活動に費やした時間だそうです。これらはクラブの公共イメージを高め、会員増強につながり、「ロータリーって何」だけでなく「ロータリーって何をするのか」といった質問への回答になると主張しています。

ガバナー月信8月号について

内田ガバナー補佐が例会挨拶で寺島ガバナーが月信8月号の巻頭で日本のマクロ経済の動向について述べていると言っておりました。

早速目を通して見ました。日本の財政について憂慮し、「日本政府あるいは日銀がどのような政策をとったにしても日本のマクロ経済は強い逆風を経なければならぬ。そんな感覚と覚悟を持っている」と述べております。ガバナーが日本財政の現状をロータリアンとのコミュニケーションの媒体とするガバナー月信の巻頭で触れられたことは異例ではないかと思いますが、経済人らしい寺島ガバナーの人となり垣間見たような気がします。(すどう)